



**新型コロナウイルス感染拡大防止の為に
北里大学同窓会栃木県支部の
今後の活動計画について**

北里大学同窓会栃木県支部
支部長 滝 龍雄

栃木県支部会員の皆様

第7回の定期総会は、前回の第6回総会と同様 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に止むを得ず対面式の総会は諦めて書面審査となりました。会員の皆様と直接接し、栃木県支部の運営等に関して色々のご意見やご助言、提案などを伺うことが出来なく残念でした。

新たに新役員も承認して頂き、今後2年間の支部運営のかじ取りを思案していますが、同じコロナウイルスによるSARSやMERSの様な短期の流行に終わらず二年以上も流行が続いていることは全くの予想外でした。まるで1918年から1920年まで感染が続き、地球を二周半して全世界で5億人が感染したとされ、当時の世界人口(18億-19億)のおよそ4分の1で、死亡者数も1億人以上(致死率20%以上)と推定されているスペイン風邪に匹敵する規模の感染が危惧されています。7月20日現在の世界の累積感染者数が約5.6億人(世界人口約80億人の7%)、死者は約637万人で死亡率は1.1%となっていて、幸いなことにスペイン風邪に比べ感染者数や死亡者数は随分と少なくなっています。又、SARSやMERSに比べても死亡率は非常に低くなっています。国内では7月に入り第7波の流行が拡大しています。7月21日現在で累積感染者が約108万人、死亡者は3万2千人弱で死亡率は0.3%と世界よりも随分低い状況です。栃木県は人口が約191万人、累積感染者10万6千人、死亡者290人弱です。しかし、残念なことに、これから暫くは感染者が増加すると予想されています。

書面審査で承認されたこれから二年間の活動予定は以下の通りです。

- 9月 Relay for Life Japan 2022 in Tochigi 参加予定
- 10月 北里大学同窓会支部長会

- 12月 栃木県支部ニュース No.37 発行
- 2023 年
- 2月 栃木県支部新年会 2023
- 5月 栃木県支部ニュース No.38 発行
- 6月 公開講演会・懇親会開催
- 8月 栃木県支部ニュース No.39 発行
- 9月 Relay for Life Japan 2023 in Tochigi 参加予定
- 10月 北里大学同窓会支部長会
- 12月 栃木県支部ニュース No.40 発行
- 2024 年
- 2月 栃木県支部新年会 2024
- 5月 栃木県支部ニュース No.41 発行
- 6月 第八回定期総会・支部講演会

今年度の予算の項目にゴルフ大会準備・開催費があることに気づいた方もいると思います。今迄、秋には福島競馬場見学ツアーを開催していましたが、それに代わるものとして会員の希望が多いゴルフ大会の開催を検討していました。

しかしながら、栃木県支部には多くの自治体職員や医療従事者が所属しています。皆さん、日夜、新型コロナウイルス感染症対策に携わっています。そのような状況下では、少なくとも今年中はゴルフ大会も含めて対面での活動を自粛せざるを得ないと考えております。

現在、新型コロナウイルス感染症は政令で指定感染症とされています。感染症学を専門にしていた私としては現在の感染状況を見て早く、季節性インフルエンザと同じ程度に分類してほしいと思いますが、当面はこの状態が続きます。

新型コロナウイルス感染症の流行状況が改善しましたら速やかに支部会の活動を積極的に再開する予定です。

所で、来年2023年は北里大学にとって非常な名誉が始まります。と言うのは、学祖の北里柴三郎博士が新千円札の顔になるのです。この快挙を記念して、栃木県支部ではこれに関連したインパクトのある公開講演会の開催を準備しています。開催日、開催内容は次号の支部会ニュース No.37 での発表を予定しています。

乞うご期待です!!

北里大学同窓会栃木県支部 第7回定期総会書面審査の結果

北里大学同窓会栃木県支部
支部長 滝 龍雄

支部会員の皆様

新型コロナウイルス感染症はまん延防止のために皆様にご協力いただいた第七回定期総会書面審査への投票ハガキの集計が終わりましたので報告します。

尚、議決の効力については、現在の北里大学同窓会栃木県支部規約には書面審査に関する規定がないため、

北里大学同窓会栃木県支部規約 (総会の権限)

第 15 条 総会は、この規約で定めたもののほか、次の各号について議決する。

事業計画および収支予算の決定。

事業報告および収支決算の承認。

その他本会の運営に関する重要な事項。

2 総会の議事は、別に定める場合を除いて、出席総会構成員過半数の同意を持って決し、可否同数の時は議長が決するところによる。

を準用し、返信ハガキを出席者とみなして半数以上の同意をもって決することとしました。「支部長に一任」は「承認」とさせて頂きました。

返信ハガキの総数は 140 通でした。

議題 1 : 2020 年 7 月～2022 年 3 月 活動報告

投票結果

承認	否認	保留	支部長に一任	記入なし	総数
84	0	0	54	2	140

この結果、活動報告は承認されました。

議題 2 : 2020 年 6 月～2022 年 3 月 決算

投票結果

承認	否認	保留	支部長に一任	記入なし	総数
83	0	0	55	2	140

この結果、決算報告は承認されました。

議題 3 : 2022 年 4 月～2024 年 3 月 活動計画

投票結果

承認	否認	保留	支部長に一任	記入なし	総数
83	0	0	55	2	140

この結果、決算報告は承認されました。

議題 4 : 次期役員・運営委員・会計監査の選出

支部長 滝 龍雄

書面審査の返信はがきで、次期の栃木県支部の運営委員として 2 名の方が推薦されました。支部長より運営委員就任をお願いし、了解を得られた坂井広人氏を追加承認し、次の方々に今後二年間の支部活動を行います。坂井氏の運営委員就任で、全学部からの運営委員が揃うことになりました。

(卒業年度、出身学部・学科)

支部長;

滝 龍雄 (1971HH)

副支部長;

岸 善明 (1973VV) 福田容子 (1981HI)

運営委員;

石川信一 (1973HI) 山口正利 (1979PP)

福田哲夫 (1980MM) 磯 恵美子 (1981PP)

芝田周平 (1981VV) 長谷川恵美子 (1981PT)

千野根純子 (1984HH) 田村明美 (1984HI)

福島祐子 (1988PT) 村山明美 (1991PT)

竹澤友妃子 (1991VV) 中野睦月 (1994PP)

天谷仁一 (1997HI) 齋藤けさよ (1998VV)

中野友裕 (1999PP) 戸田麻子 (2001NN)

坂井広人 (2002FF) 阿部祥次 (2010VV)

事務局;

和貝和子 (1982HH) 篠崎和美 (2006AM)

廣瀬英俊 (2006AM) 川又圭太 (2010AL)

会計監査;

塚原訓子 (1977HI) 鈴木 守 (1980VV)

投票結果

承認	否認	保留	支部長に一任	記入なし	総数
82	0	0	56	2	140

この結果、活動報告は承認されました。

議題 5 : 2022 年 4 月～2024 年 3 月 予算案

支部長 滝 龍雄

事務局 塚原訓子

単位: 円: 円

《収入の部》

項目	予算	備考
前期繰越金	1,320,419	
総会等補助	200,000	
講演会補助	500,000	支部後援会、公開講演会
通信費援助	800,000	発送数 x 200 円
新年会参加費	300,000	
懇親会参加費	150,000	
広告協賛金	50,000	講演会パンフレット他
その他	10,000	
預金利子	20	
合計	3,330,439	

〈支出の部〉 単位：円

項目	予算	備考
講演会会場費	500,000	2回
講演会事務費	50,000	パンフ、他
講師謝礼、他	100,000	2回
講演会諸経費	50,000	花代、他
RFL in 栃木	50,000	2回
ニュース作成	100,000	年3回、印刷費、他
郵送代	500,000	年3回
新年会懇親会	200,000	各年2回
その他	20,000	HP委託費
事務経費	100,000	印刷用紙、インク等
次期繰越金	1,660,439	
合計	3,330,439	

投票結果

承認	否認	保留	支部長 に一任	記入 なし	総数
80	0	0	58	2	140

この結果、活動報告は承認されました。

Relay for Life JAPAN 2022 in Tochigi

北里大学同窓会栃木県支部

副支部長 福田 容子

一昨年、昨年に続いて今年も相変わらず変異ウイルスの出現による新型コロナウイルスのPCR検査陽性者が多く発見されています。Relay for Life JAPAN in Tochigiの開催も2年続けて中止、或いはZoom開催となっています。今年度の開催について、実行委員会はから日程を短縮して9月17日(土)の一日開催にするという連絡が来ていますが、現状ではその予定通り開催されるか不明です。

栃木県支部では、生命科学の総合学府である北里大学の宣伝も兼ねて栃木県内で開催されるRelay for Life JAPAN in Tochigiに開始された2012年以来支部として参加しています。今年も開催される場合には参加していきたいと思えます。

【滝1】この活動は皆さんもご存知のようにがん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティー活動です。

Relay for Lifeは“Save Lives”を使命とし、がんの告知を乗り越え、生きていることを祝福し(祝うCelebrate)、旅立った愛する人たちをしのび(しのぶRemember)、がんに負けない社会を作る(立ち向かうFight Back)ことを目指します。

支部会の中にもがん患者、がんサバイバー、がん治療や新薬開発に携わる人などが多様な人々が居ます。がんは決して対岸の問題ではありません。

Relay for Life JAPAN 2022 in Tochigi開催されましたら、皆さん一緒にリレーに参加しませんか?参加費等は支部で用意しますので、服装や履物は歩けるように準備して来て頂ければ結構です。

備して来て頂ければ結構です。

参加を予定している方は、支部長までその旨をお知らせ下さい。

主催者より、開催の有無や、開催方法の変更等の連絡ありましたらお知らせします。

連絡先:支部長 滝 龍雄

メール tatabox@kitasato-u.ac.jp

電話 090-6533-1555

昨今の大学事情について

飯野 望 (1985HH)



(戦場ヶ原で。左側が私です)

昭和60年3月に衛生学部衛生技術学科を卒業した飯野望です。今でこそ、偉そうに栃木県支部の同窓会ニュースに執筆しておりますが、大学時代は舞踏研究会(現在は廃部となっているようです)のサークル活動と称しては、飲み会三昧の日々で、挙句の果てには午前中の講義に出席できず、午後からの実習に滑り込むような生活を送っておりました。今考えるとお恥ずかしい限りで、もう少し真面目に勉強しておけば良かったと、正直、後悔しております。なぜなら、このような私が、現在、いっぱしに大学で教えているのですから。

大学に赴任する以前は、栃木県職員として27年間、臨床検査技師として働いていました。また、その節は栃木県支部の同窓会にも度々、参加させていただきました。皆様にはこの場をお借りして、御礼申し上げます。しかし、先日、「コロナ禍での同窓会活動がなかなか思うようにできない」とのことを、滝支部長よりお聞きしました。感染症学の権威である北里柴三郎博士を学粗とする北里大学ですので、尚更、同窓会でクラスターなど出さぬようご苦労されていることとお察しいたします。

さて、縁あって、埼玉医科大学保健医療学部へ赴任することになり約8年近くが経ちますが、昨今の大学事情についてお話をさせていただきたいと思えます。

皆様もご存知の通り、我が国の18歳人口減少(全人口の減少も含めて)は大学の存続にも影を落としております。加えて、医療系大学の宿命である国家試験、こ

の合格率が受験生を獲得する上で大きな足かせになっています。話は遡りますが、私が大学生だった頃、つまり40年近く前の大学では、国家試験の合格率なんて気にしている様子はなく(実は気にしていたのかもしれませんが)、当然、大学教員が国家試験対策の講義を持つなどあり得ない時代でした。また、「国家試験の勉強は問題集でも買って自分でやって」、「病院なんか就職して技師にでもなったら、一生面白くない人生が待っているよ」など、大学教員の気楽で無責任な言動もさほど問題になるようなことはありませんでした。しかし、現代では、直ちに、パワハラもしくはアカハラだと言って学生から訴えられ、職を追われるような事態を招いてしまうことも少なくないのです。

ここまでお読みの方はお分かりと思いますが、大学は今や学生をお客さんのように大切に扱っていかねばならない状況になっていたのです。これには驚きが隠せませんでした。分かりやすい講義資料の作成、細やかな実習指導、合間を縫った国家試験対策講義や卒業研究の指導などは当然のこのように求められ、自分の好きな研究テーマだけに没頭できた時代は終わっていました。しかし、一方で、教員だからこそ味わえる嬉しいこともあります。学業が振るわず、卒業までに手を煩わせた学生が、卒後、臨床現場で生き生きと活躍する姿を見聞きした瞬間です。また、コロナ感染の蔓延が世界的に問題になっていますが、卒業生がコロナのPCR検査に尽力していることを知り、地域社会に貢献できる人材にまでに成長できた時には胸が熱くなりました。

最後に、大学教員としての責務である研究について、少し述べさせていただきたいと思います。言い訳にしかありませんが、このように雑事が多いこともあり、最近では学生と共に進めていくことができる卒業研究テーマに絞って研究をしています。アルコールに強い体質か否かを決めるALDH(アセトアルデヒド脱水素酵素)遺伝子は非常に有名ですが、カフェイン、喫煙等の習慣においても、個々人が持つ代謝酵素遺伝子(CYPなど)のバリエーションが関係していると言われていています。大学生が不眠症に悩み、勉強に集中できないなどの問題を抱えている背景には、こうした代謝酵素遺伝子型との関与があるのではないかと考え、現在、ボランティア学生を対象に解析しているところです。今夏、本学保健医療学部が主幹となり、第16回日本臨床検査学教育学会が開催されますので、それまでには解析結果が出ていることを祈るばかりです。

このように、大学も時代と共に、そのニーズに合わせて変化し続けることにおいては、例外ではないということがお分かりいただけましたでしょうか。昨今のコロナの蔓延、戦争の勃発など、世界情勢は大きな変革期を迎え、かつてない事態に直面しています。予測できないこの時代を、大学生は今後どのように生きていったらいいのか、我々教員にも大きな課題を突き付けられたように思います。

それでは皆様、またお会いできる日を楽しみにしております。

お願い：支部の事務局を探しています

支部長 滝 龍雄

北里大学同窓会栃木県支部は、第一次の支部発足時より済生会宇都宮病院内の医療技術部臨床検査科に事務局を置いて頂いています。滝が支部活動を引き継いだ際にもそのまま済生会宇都宮病院内に事務局を置いてもらっています。しかしながら、近年の病院内の管理体制や業務分担の変化により、病院内に事務局を置いて、臨床検査科の人達に仕事をお願いするのは難しい状況になったおります。

現在、栃木県支部では会員より年会費を徴収していませんので、面倒な会員からの会費授受に関する事務はありません。支部会ニュースの編集・印刷・発送、大学同窓会本部との連絡等は主に滝が担当しています。

実際の事務局の業務は同窓会本部からの各種援助金の管理、ニュースの印刷・発送関係の経費や支部のHP維持費用と総会・講演会での金銭管理が中心となります。

つきましては、皆様の中で事務局を引き受けても良いという方は支部長までご一報下さい。沢山の申し出があり、どなたにお願いするか迷う位ですと嬉しい事態だ!!と喜べるのですが如何でしょう?

支部長(滝 龍雄) 連絡先

メール：tatabox@kitasato-u.ac.jp

携帯電話：090-6533-1555

北里大学同窓会栃木県支部

よりお詫びと訂正：

昨年12月1日付けで発行しました北里大学同窓会栃木県支部ニュースNo.35をNo.34と誤記しました。又、ページ番号も誤記しました。謹んで訂正します

編集後記：新型コロナウイルス感染症が一段落したと思われた5月6日から10日程、オレゴン州ポートランドで開催された学会に参加した。新型コロナウイルス感染症が完全に終息したわけではないので、その準備も結構大変だった。先ず切れていたパスポートを作成し、アメリカビザ/電子渡航認証(ESTA)をネットで申請し、市役所で英文のワクチン接種証明書を発行してもらい、72時間以内のPCR検査結果を得るため宇都宮駅の検査センターで抗原検査を受けた。準備OKと思いき成田に向かった。しかし、飛行機はバンクーバー経由だったので、カナダ版eTA認証が必要という事を忘れていて、空港で職員から「無いと飛行機に乗れません。」と脅されながら何とか間に合った。カナダもアメリカも入国手続きはあつけなく簡単だった。寧ろ帰国するには飛行機乗る72時間以内のPCR検査で陰性証明が必要だった。ロスの住んでいる友人に頼み検査出来る所を探してもらい、何とか間に合った。でもバンクーバーでトランジットの案内を見落とし、予定の便に乗り遅れ、ターミナルで一晩を明かした。翌日、搭乗手続きに行くと、ロスのPCR検査は時間切れで、再度PCR検査を受けることになり、陰性であったのでやっと帰国できた。今迄とは随分と違う経験をした、記憶に残る今回の学会参加で会った。(滝)